

【編集後記】「緩む心のねじをまけ」

関東大震災から100年ということで墨田区にある慰霊堂と復興記念館を訪れた。両施設は、東京都が管理しており両国国技館から少し北の横網町公園の中にある。ここは震災当時、陸軍の被服廠が移転した跡地で、多くの住民が避難してきたが、四方から押し寄せる火災により3万8千人以上の方が亡くなった悲劇の地である。慰霊堂は、犠牲者が供養され、記念館には、震災の発生から復興までの経過が絵画や写真、被災実物、模型などにより展示されている。生々しい資料を前にして被害の甚大さと凄惨さが胸に刺さった。100年の間に、都市構造や生活様式、コミュニティの状況などが大きく変わり、関東大震災の教訓が今日そのままあてはまるとは言えないかもしれないが、時代を超えて変わらないものがあるとすれば一人一人の心構えであろう。表題は、昭和5年の帝都復興完成式典に当たり当時の東京市が配布した記念品の文鎮に記された標語である。首都直下地震の発生も近いと言われている。改めて肝に銘じたい。

地域防災に関する総合情報誌 **地域防災** 2023年8月号（通巻51号）

■発行日 令和5年8月25日

■発行所 一般財団法人日本防火・防災協会

■編集発行人 高尾 和彦

〒105-0021 東京都港区東新橋1-1-19（ヤクルトビル内）

TEL 03 (6280) 6904 FAX 03 (6205) 7851

URL <https://www.n-bouka.or.jp>

■編集協力 近代消防社